

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成29年3月15日
【四半期会計期間】	第71期第1四半期（自平成28年11月1日至平成29年1月31日）
【会社名】	ナトコ株式会社
【英訳名】	NATOCO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 粕谷 健次
【本店の所在の場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長・生産企画部長 山本 豊
【最寄りの連絡場所】	愛知県みよし市打越町生賀山18番地
【電話番号】	(0561)32-2285(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長・生産企画部長 山本 豊
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第1四半期 連結累計期間	第71期 第1四半期 連結累計期間	第70期
会計期間	自平成27年11月1日 至平成28年1月31日	自平成28年11月1日 至平成29年1月31日	自平成27年11月1日 至平成28年10月31日
売上高 (千円)	3,595,236	3,644,042	14,852,314
経常利益 (千円)	182,694	377,031	987,855
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	87,033	238,133	598,620
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	3,372	375,578	274,584
純資産額 (千円)	15,810,939	16,268,344	15,998,374
総資産額 (千円)	20,088,463	20,605,145	20,456,152
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	11.54	31.57	79.36
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	78.7	79.0	78.2

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)セグメント情報」の「 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国、欧州は景気は回復傾向にはあるものの、中国を始めとする新興国経済は減速しており、加えて英国や米国新政権の影響もあるなど、不透明感な状況で推移しました。

一方、わが国経済は、企業業績、雇用環境の改善が進み、景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、株価や為替相場の変動など注視を要する状況でありました。

このような状況のもと、当社グループは独自性のある高機能性製品や環境対応型製品の開発に加え、業務全般の効率化や生産性の向上によるコスト削減に努めるとともに、引き続き販路拡大に向け国内外に営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,644百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は289百万円（前年同期比27.3%増）となりました。また、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外連結子会社に対する外貨建貸付金の為替差益の計上により、経常利益377百万円（前年同期比106.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益238百万円（前年同期比173.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分変更を行っており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「 2 . 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載しております。

塗料事業

金属用塗料分野では、ユーザーの環境意識の高まりにより環境対応型製品への需要が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。内装建材用塗料分野では、無塗装フローリング製品の増加で低調な状況が続いており、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。外装建材用塗料分野では、大手ユーザーへの販売が堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、塗料事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は2,458百万円（前年同期比4.2%増）、セグメント利益は328百万円（前年同期比31.3%増）となりました。

ファインケミカル事業

電子材料向けのコーティング剤やスマートフォン向けの製品が不調であったため、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、ファインケミカル事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は274百万円（前年同期比13.3%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期は 19百万円）となりました。

シンナー事業

シンナー事業におきましては、一部大手ユーザーでの生産拠点の海外移転に伴い、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、シンナー事業における当第1四半期連結累計期間の売上高は910百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は89百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は206百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	26,299,000
計	26,299,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成29年1月31日)	提出日現在発行数(株) (平成29年3月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,144,400	8,144,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	8,144,400	8,144,400	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成28年11月1日～ 平成29年1月31日	-	8,144,400	-	1,626,340	-	3,316,538

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成28年10月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成29年1月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 600,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,542,500	75,425	-
単元未満株式	普通株式 1,000	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	8,144,400	-	-
総株主の議決権	-	75,425	-

(注)1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株含まれております。

また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数10個が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式が20株含まれております。

【自己株式等】

平成29年1月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
ナトコ株式会社	愛知県みよし市打越町 生賀山18番地	600,900	-	600,900	7.38
計	-	600,900	-	600,900	7.38

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成28年11月1日から平成29年1月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年11月1日から平成29年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,498,062	6,315,487
受取手形及び売掛金	4,521,473	4,359,365
電子記録債権	241,816	263,205
有価証券	200,000	500,000
商品及び製品	865,277	972,873
仕掛品	33,965	40,641
原材料及び貯蔵品	429,361	465,080
繰延税金資産	107,099	57,927
その他	821,040	760,602
貸倒引当金	4,664	4,544
流動資産合計	13,713,432	13,730,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,568,561	2,599,613
機械装置及び運搬具(純額)	949,871	968,600
土地	1,737,249	1,737,249
その他(純額)	671,343	696,129
有形固定資産合計	5,927,026	6,001,593
無形固定資産		
	197,054	203,175
投資その他の資産		
投資有価証券	446,844	496,928
繰延税金資産	23,947	23,452
その他	149,055	150,563
貸倒引当金	1,208	1,208
投資その他の資産合計	618,638	669,736
固定資産合計	6,742,719	6,874,505
資産合計	20,456,152	20,605,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,584,101	2,701,757
未払法人税等	159,384	61,737
繰延税金負債	430	-
賞与引当金	242,660	107,910
役員賞与引当金	34,630	8,450
その他	723,342	742,631
流動負債合計	3,744,548	3,622,486
固定負債		
繰延税金負債	58,413	77,403
役員退職慰労引当金	281,569	264,885
退職給付に係る負債	191,645	189,849
その他	181,601	182,175
固定負債合計	713,229	714,313
負債合計	4,457,777	4,336,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年10月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	11,027,213	11,159,739
自己株式	516,252	516,252
株主資本合計	15,453,839	15,586,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177,603	214,251
為替換算調整勘定	398,607	497,771
退職給付に係る調整累計額	31,675	30,043
その他の包括利益累計額合計	544,535	681,979
非支配株主持分	-	-
純資産合計	15,998,374	16,268,344
負債純資産合計	20,456,152	20,605,145

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
売上高	3,595,236	3,644,042
売上原価	2,726,841	2,713,425
売上総利益	868,395	930,617
販売費及び一般管理費	641,301	641,503
営業利益	227,093	289,113
営業外収益		
受取利息	956	679
受取配当金	4,497	5,155
貸倒引当金戻入額	374	120
為替差益	-	78,415
その他	6,200	6,447
営業外収益合計	12,028	90,818
営業外費用		
支払利息	11	6
売上割引	2,700	2,888
為替差損	51,474	-
その他	2,241	5
営業外費用合計	56,428	2,900
経常利益	182,694	377,031
特別利益		
固定資産売却益	1,123	1,503
投資有価証券売却益	-	772
特別利益合計	1,123	2,275
特別損失		
固定資産処分損	183	1,129
特別損失合計	183	1,129
税金等調整前四半期純利益	183,634	378,177
法人税、住民税及び事業税	28,676	85,502
法人税等調整額	67,925	54,541
法人税等合計	96,601	140,043
四半期純利益	87,033	238,133
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	87,033	238,133

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
四半期純利益	87,033	238,133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,709	36,648
為替換算調整勘定	76,098	99,164
退職給付に係る調整額	402	1,631
その他の包括利益合計	90,405	137,444
四半期包括利益	3,372	375,578
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,372	375,578
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日) を当第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。) は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成27年11月 1 日 至 平成28年 1 月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成28年11月 1 日 至 平成29年 1 月31日)
減価償却費	118,217千円	115,276千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年1月26日 定時株主総会	普通株式	105,608	14	平成27年10月31日	平成28年1月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年1月26日 定時株主総会	普通株式	105,608	14	平成28年10月31日	平成29年1月27日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間末後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,359,456	316,763	919,016	3,595,236	-	3,595,236
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	145	-	52,539	52,685	52,685	-
計	2,359,602	316,763	971,555	3,647,921	52,685	3,595,236
セグメント利益又は損失()	250,243	19,062	118,469	349,649	122,556	227,093

(注)1. セグメント利益の調整額 122,556千円は、セグメント間取引消去5,653千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 128,210千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,458,886	274,657	910,498	3,644,042	-	3,644,042
(2) セグメント間の内 部 売上高又は振 替高	9,039	680	54,193	63,913	63,913	-
計	2,467,926	275,338	964,691	3,707,956	63,913	3,644,042
セグメント利益	328,574	1,449	89,075	419,099	129,985	289,113

(注)1. セグメント利益の調整額 129,985千円は、セグメント間取引消去7,995千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 137,980千円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、「塗料事業」に含めておりました樹脂素材分野を「ファインケミカル事業」に含めるよう変更しております。

これは、当社グループの事業展開、経営管理体制の実態等の観点からセグメントについて再考した結果、取扱製品の特性が類似する「ファインケミカル事業」に含めるのが適切であると判断したことによるものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年11月1日 至平成28年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年1月31日)
1株当たり四半期純利益金額	11円54銭	31円57銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	87,033	238,133
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純利益金額(千円)	87,033	238,133
普通株式の期中平均株式数(株)	7,543,480	7,543,480

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年 3月15日

ナトコ株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 鈴木 賢次 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岸田 好彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているナトコ株式会社の平成28年11月1日から平成29年10月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成28年11月1日から平成29年1月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成28年11月1日から平成29年1月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ナトコ株式会社及び連結子会社の平成29年1月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。